



平成 23 年 3 月 14 日

各 位

会社名 宇部興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹下道夫
(コード番号 4208 東証第1部・福証)
問合せ先 IR広報部長 坂本靖子
(TEL. 03-5419-6110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 10 月 21 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 10 月 21 日発表)	百万円 613,000	百万円 36,000	百万円 28,500	百万円 17,000	円 銭 16 91
今回修正予想(B)	617,000	43,500	37,500	17,000	16 91
増減額(B-A)	4,000	7,500	9,000	—	
増減率(%)	0.7	20.8	31.6	—	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	549,556	27,595	18,995	8,217	8 17

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 22 年 10 月 21 日発表)	百万円 290,000	百万円 17,000	百万円 13,000	百万円 7,500	円 銭 7 45
今回修正予想(B)	295,000	24,000	20,000	5,000	4 96
増減額(B-A)	5,000	7,000	7,000	△2,500	
増減率(%)	1.7	41.2	53.8	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	254,801	7,091	4,463	1,517	1 51

修正の理由

化成品・樹脂セグメントでカプロラクタムや合成ゴムなどの製品価格が良好な需給バランスを背景として大幅に上昇し、スプレッド（製品と原料の値差）も想定以上に拡大したことに加え、建設資材セグメントでもセメントの出荷が上振れたことなどにより、連結、個別ともに売上高、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みです。

一方、当期純利益は、本日別途公表しておりますアルミホイール事業撤退に伴う特別損失の計上により個別では前回予想を下回るものの、経常利益の上振れにより連結では前回予想を確保できる見込みです。

配当予想につきましては、1株当たり5円に変更ありません。

なお、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって、当社の設備等につき直接的には大きな被害を受けておりませんが、今後発生の可能性のある間接的な影響については現時点では詳細が不明であり、当修正には織り込まれておりません。

(ご参考) 平成23年3月期業績予想 セグメント別売上高・営業利益(連結)

(単位:億円)

項目	セグメント	平成23年3月期			平成22年3月期
		前回予想	今回予想	増減	実績
売上高	化成品・樹脂	2,020	2,060	40	1,650
	機能品・ファイン	725	685	△40	603
	医薬	95	90	△5	99
	建設資材	1,930	1,985	55	1,883
	機械・金属成形	850	845	△5	817
	エネルギー・環境	580	600	20	541
	その他	240	250	10	190
	連結消去	△310	△345	△35	△293
	合計	6,130	6,170	40	5,495
営業利益	化成品・樹脂	140	194	54	47
	機能品・ファイン	84	85	1	32
	医薬	24	24	0	37
	建設資材	65	80	15	61
	機械・金属成形	22	18	△4	44
	エネルギー・環境	32	39	7	43
	その他	8	10	2	9
	調整額	△15	△15	0	△1
	合計	360	435	75	275

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上